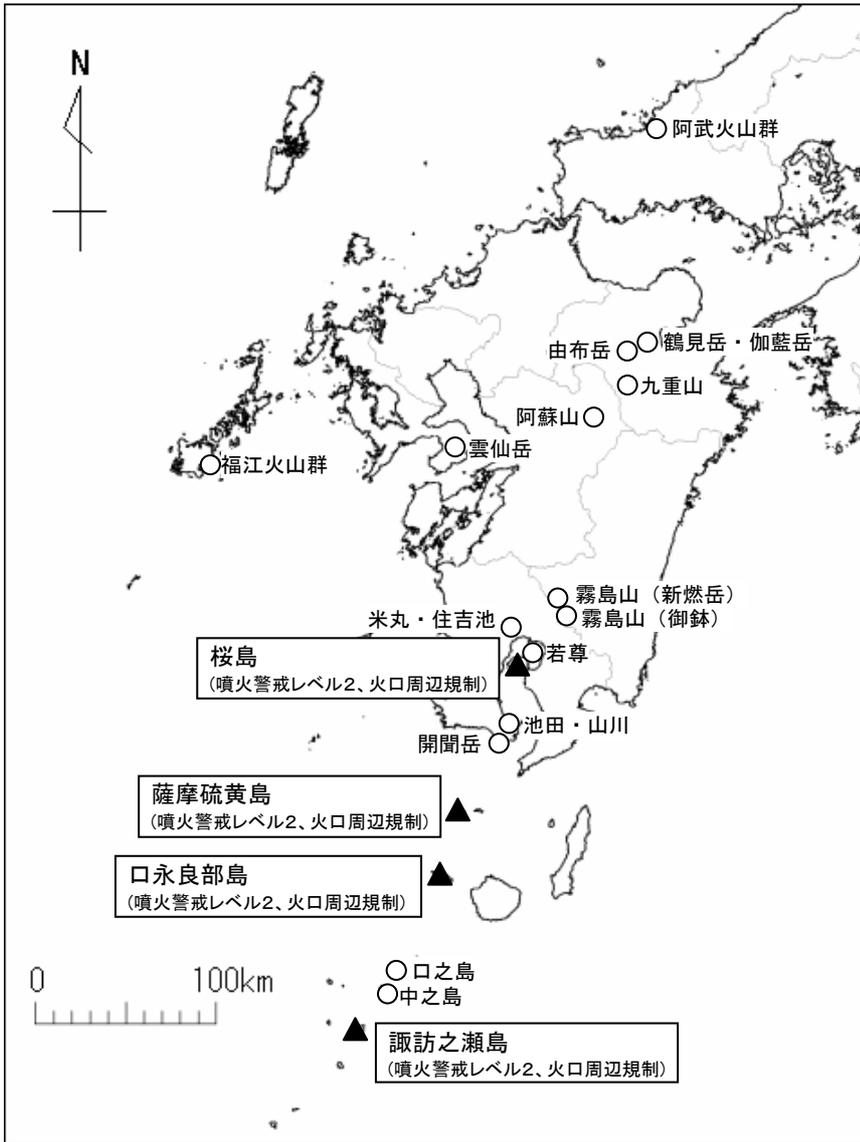


管内月間火山概況 (平成 21 年 4 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (4月30日現在)

- | | |
|---------------------------|---|
| 火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制) | : 桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島 |
| 噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常) | : 九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山 (新燃岳)、霧島山 (御鉢) |
| 噴火予報 (平常) | : 阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島 |



凡例
▲ : 噴火警報発表中の火山 ○ : その他の火山

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ (<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況(平成 21 年 5 月分)は平成 21 年 6 月 9 日に発表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています (承認番号:平 20 業使、第 385 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

24 日 14 時 00 分、桜島に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げました。

桜島では、引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から 1 km 程度の範囲に噴石を飛散させる噴火は発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

中岳第一火口では、南側火口壁からごく微量の火山灰の噴出が時々確認されたほか、火口の南西側や監視所駐車場横でごく微量の降灰を確認しました。また、夜間の現地調査では南側火口壁の噴気孔で火炎現象¹⁾を観測しました。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

火口内では火山灰や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要です。火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

1) 熱せられた噴出物が炎のように見える現象。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性がありますので、火山灰等の噴出に警戒が必要です。

霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←4月24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げ。

昭和火口では、2月28日から4月10日にかけて爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しましたが、その後、爆発的噴火はありませんでした。4月11日以降、昭和火口及び南岳山頂火口で発生したのは、いずれもごく小規模な噴火でした。火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いており、山体の膨張を示す地殻変動も観測されていません。これらのことから、4月24日14時00分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

なお、昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、長期的には次第に活発化している傾向がみられますので今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

桜島では、引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から 1 km 程度の範囲に噴石を飛散させる噴火は発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震回数はやや多い状態で経過しました。

今後、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では警戒が必要です。

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

噴煙活動はやや活発で、火山性微動はやや多い状態で経過しました。火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いています。

今後も新岳火口から 1 km 程度の範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火は 40 回でした。諏訪之瀬島ではこれまでに

も長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も、御岳^{おんたけ}火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。